

平成28年度

第3回幕別町地域公共交通確保対策協議会議案

会 議 次 第

1 議 案

- (1)報告第7号 コミュニティバス利用促進に係るニーズ調査結果について
- (2)議案第5号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- (3)議案第6号 幕別線のダイヤ改正等について

報告第7号 コミュニティバス利用促進に係るニーズ調査結果について

【説明】

昨年度実施した、乗車客に対する利用実態調査結果から、幕別線の運行の見直しを行うことが必要であると思われることから、幕別線の路線沿線の住宅に、戸別訪問し、聴取調査を実施した。

(1)調査人数

103人

(2)乗車実績の有無

有・・・48人

無・・・55人

(3)乗車目的

	主な目的	人数
1	市街地での買物	29人
2	病院	10人
3	知人宅	5人
4	その他町有施設	4人

(4)運賃について

高・・・0人

普・・・46人

安・・・57人

(5)自由意見(80人から回答。)

	意見	人数
1	市街中心部で用足しをしても帰りの便の時間が合わない。	28人
2	市街中心部で買い物をしても帰りのバス停が遠い。	12人
3	路線上のどこでも乗降できるようにして欲しい。	5人
4	時刻表が見づらい。	5人

※その他の意見については、「コミバスの運行を続けて欲しい。」、「知人や子どもの子に乗せてもらっているのに利用していない。」、「コミバスやコミバスの乗車方法を知らない。」との意見だった。

議案第5号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
別紙資料1のとおりとする。

【説明】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱等において、国庫補助を受けるコミュニティバス等の運行及びバス車両の購入を行う場合には、毎年度、本協議会において事業の実施状況の確認、評価を行い北海道運輸局に報告するとともに公表することとなっているため、別紙資料1のとおり北海道運輸局宛に提出する。

議案第6号 幕別線のダイヤ改正等について
別紙資料2のとおり改正する。

【説明】

報告第7号におけるニーズ調査結果を元に、次年度から幕別線のバス停増設及びダイヤ改正を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月17日

協議会名: 幕別町地域公共交通確保対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
十勝バス(株)	コミュニティバスの運行 ・幕別線1 ・幕別線2 ・札内線 車両減価償却費等国庫補助金 ・幕別線 ・札内線	コミュニティバスの周知及び今後の利用促進策の検討のため、幕別線沿線沿の住宅に戸別訪問を行った。 町図書館において運賃無料のコミバスデーに合わせ「コミバスde映画会」を開催し、コミバスの利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標利用者数4,059人(幕別線)、6,150人(札内線)に対し、実績4,010人(幕別線)、7,572人(札内線)であった。 今年度(H28.4~)、幕別線の戸別訪問による周知活動を行った結果実績が伸びてきている。	今後も、訪問調査等を行いコミュニティバスの周知に努めるとともに運行ダイヤ等の改正を進めていく。
エイシン運輸(有)	予約型乗合タクシーの運行 ・駒畠線	戸別訪問を行い、予約型乗合タクシーの利用方法等の説明を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標利用者数553人に対し、実績は477人であった。 利用方法などの周知が徹底されていないことから使用者数が目標に達しなかった。	住民に対し、予約型乗合タクシーについての出前講座などを開催し周知に努める。 イベント開催時に合わせ予約型乗合タクシーの利用を呼び掛ける。
北斗タクシー(有)	予約型乗合タクシーの運行 ・古舞線	戸別訪問を行い、予約型乗合タクシーの利用方法等の説明を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標利用者数738人に対し、実績は554人であった。 利用方法などの周知が徹底されていないことから使用者数が目標に達しなかった。	住民に対し、予約型乗合タクシーについての出前講座のなどを開催し周知に努める。 イベント開催時に合わせ予約型乗合タクシーの利用を呼び掛ける。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月17日

協議会名:	幕別町地域公共交通確保対策協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>幕別町は北海道十勝平野のほぼ中央に位置しており、西側は十勝の中核都市帯広市と更別村に、北側は音更町と池田町、東は豊頃町、南は大樹町に隣接し、面積は477.68km²、平成28年11月末の人口は27,273人である。</p> <p>幕別、札内市街地には公共交通を利用できない公共交通空白地域が存在し、自家用車による移動が困難な高齢者や障がい者、運転免許を持たない方などは、「移動」が制約され不便な生活を強いられることとなり、地域社会を維持していくためには大きな障壁となっている。</p> <p>このような状況から、今後の少子高齢化の進行による交通弱者の増加や、町内における公共交通空白地域の存在等を踏まえ、日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、効率的で持続可能な公共交通の確保や公共交通の利便性の向上を図ることを目的としたフィーダー路線を導入し、生活交通ネットワークの構築を進めていくことが必要である。</p>

幕別町地域公共交通確保対策協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

幕別町においては、今後の少子高齢化の進行による交通弱者の増加や、町内における公共交通空白地域の存在等を踏まえ、日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、効率的で持続可能な公共交通の確保や公共交通の利便性の向上を図ることを目的としたフィーダー路線を導入し、生活交通ネットワークの構築を進めていくことが必要である。

生活交通確保維持改善計画の目標

幕別地区・札内地区におけるコミュニティバスの年間利用者数

幕別線 4,059人(1便あたり3.3人)

札内線 6,150人(1便あたり5.0人)

予約型乗合タクシー

駒畠線 553人(1便あたり1.5人)

古舞線 738人(1便あたり1.5人)

平成28年度事業概要

コミュニティバスの運行

幕別線1、幕別線2、札内線、車両減価償却費等国庫補助金

予約型乗合タクシーの運行

駒畠線、古舞線

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(札内駅、稲士別駅、幕別駅)
- ・十勝バス(株)(4路線)
- ・スクールバス(12路線)

協議会開催状況

- 平成27年6月18日 第1回協議会の開催
 - ・副会長及び監査委員の指名について
 - ・地域内フィーダー計画の策定について
- 平成27年9月11日 第2回協議会の開催
 - ・コミュニティバスの運賃について
- 平成28年1月20日 第3回協議会の開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- 平成28年3月25日 第4回協議会の開催
 - ・平成28年度協議会予算(案)について
- 平成28年5月10日 第1回協議会の開催
 - ・規約・規定の一部改正について
 - ・副会長及び監査委員の指名について
 - ・コミュニティバス利用促進に係るニーズ調査手法について
- 平成28年6月24日 第2回協議会の開催
 - ・地域内フィーダー計画の策定について
- 平成29年1月17日 第3回協議会の開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
 - ・幕別線のダイヤ改正等について

平成28年度事業の実施状況（コミュニティバス）

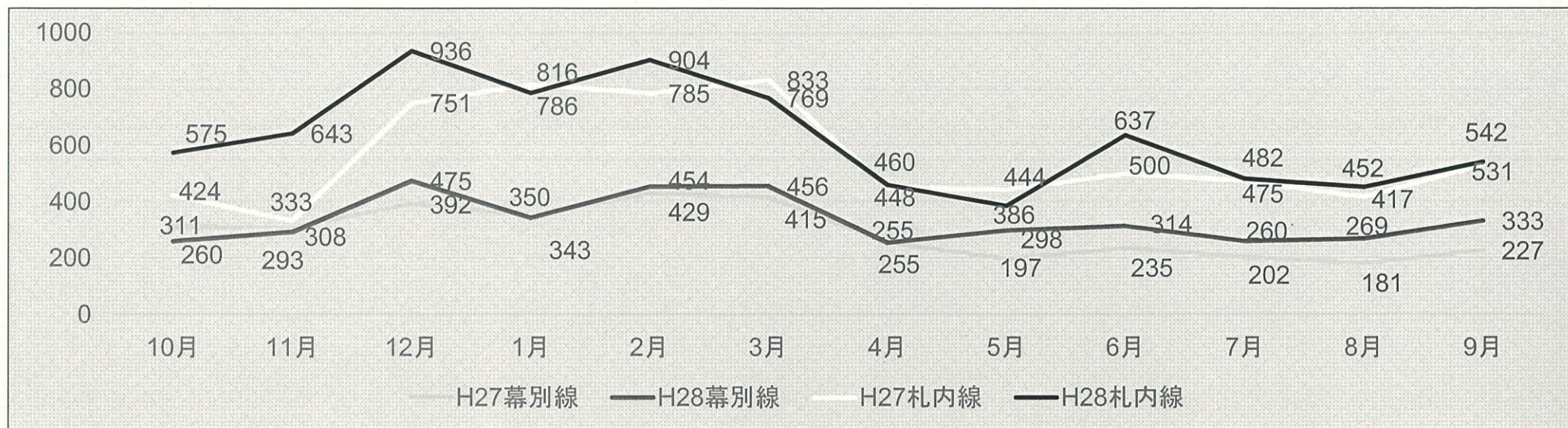
1) プロセス、創意工夫

- ・回数券の販売
- ・老人クラブ等での出前講座の実施
- ・町産業まつりでのコミュニティバスの展示、パンフレットの配布
- ・広報紙によるコミュニティバス利用方法の紹介等
- ・路線沿線の住宅への訪問調査の実施

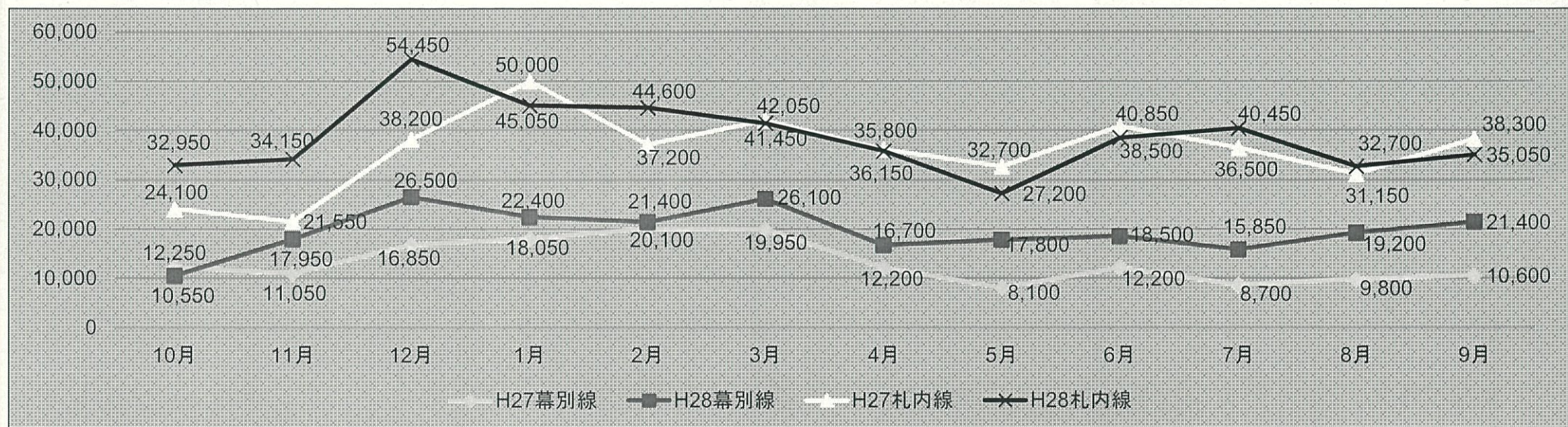
2) 運行系統

【別紙】

3) 利用実績(人)



4) 収入実績(円)



平成28年度事業の実施状況(予約型乗合タクシー)

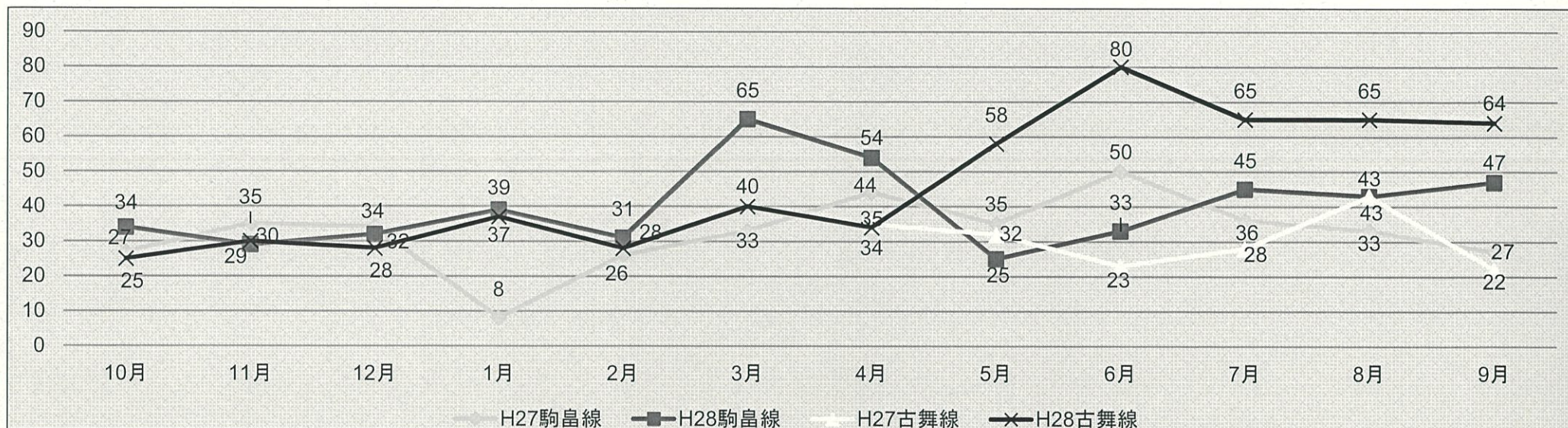
1) プロセス、創意工夫

- ・町内公共施設へのパンフレットの配布
- ・戸別訪問による、周知説明

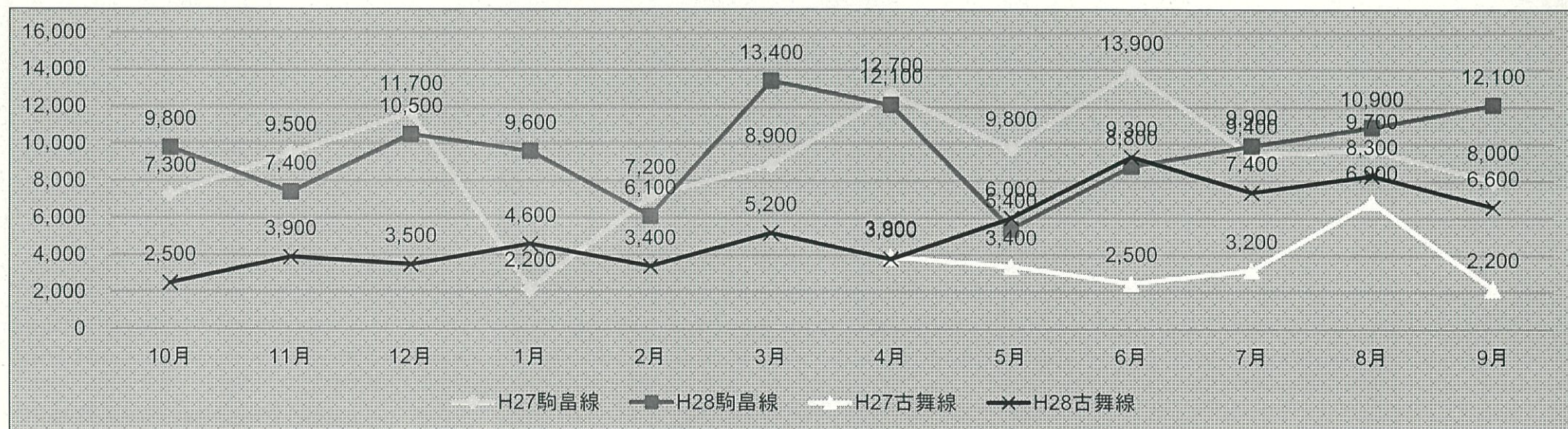
2) 運行系統

【別紙】

3) 利用実績(人)



4) 収入実績(円)



5) 事業実施の適切性

- ・コミュニティバスの運行に関して幕別線・札内線ともに計画どおり運行した。
- ・予約型乗合タクシー運行に関して駒島線・古舞線ともに計画どおり運行した。

6) 目標・効果達成状況

【コミュニティバス】

・幕別線の目標利用者数は3.3人/便に対し実績は3.2人/便であった。
今後の利用促進策として、路線沿線の住宅に訪問調査結果を基に、ダイヤ等の改正を行うこととした。

・札内線の目標利用者数は5.0人/便に対し実績は6.2人/便であった。

【予約型乗合タクシー】

・駒島線の目標利用者数は553人に対し実績は477人と目標には達しなかった。
利用方法などの周知が徹底されていないことから使用者数が目標に達しなかった。

・古舞線の目標利用者数は738人に対し実績は554人と目標には達しなかった。
利用方法などの周知が徹底されていないことから使用者数が目標に達しなかった。

7) 事業の今後の改善点

- ・住民に対する周知の徹底を図る。
- ・コミュニティバスの利用促進のため、訪問調査等を行うとともに、運行の見直しを行う。

8) 地方運輸局における二次評価結果

※平成28・29年度事業一括で翌年度評価

〔改正案〕

○ ダイヤの変更

→ 2・3便、4・5便をセットとして利用できる。

1便：変更なし、2便：変更なし、3便：現行より33分遅れ

4便：現行より38分遅れ、5便：現行より2分遅れ

○ バス停を増設→那須商店前、吉田時計電気裏のバス停。

○ 時刻表の改正→A 3版で、路線図及びダイヤを横並びにして見やすいように。

〔利用想定〕

○ 公共交通機関への接続として利用。

便	JR(帯広行)	JR(釧路行)	路線バス(帯広行)	路線バス(陸別行)
1便	+4分	-10分	+25分	+3分
2便	+14分	+14分	+10分	+4分
3便	+63分	+63分	+11分	-7分
4便	+23分	+4分	+11分	+37分
5便	+20分	+5分	-14分	+87分

※+4分：駅前にコミバス到着から4分後に発、-10分は駅前に到着する10分前に発。

○ 2便で市街中心部に行き、帰りは3便の吉田時計電気裏発で帰る。

→従来、市街中心部で買い物後、幕別駅前(280m)まで歩いていたが、吉田時計電気裏(110m)と、半分以下の距離になる。(4便・5便利用も同様。)

買物時間を約1時間確保。

○ 緑町方面の1便・2便・4便及び旭町方面の3便・5便利用者が、市街中心部を利用するために降りられるよう、那須商店前を設置。

スケジュール

	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4
協議会	改正案決定			新運行開始
周知	ホームページ掲載 学校(幕小・中)周知 バス停掲示		広報誌掲載 時刻表配布	
バス停 時刻表		時刻表印刷	バス停張替	